



2009年9月17日 第2010-01号

【発行】J A M

【発行責任者】斉藤 常

【編集】政策政治グループ

03-3451-2425

E-MAIL : seisaku.seiji@jam-union.jp

鳩山内閣誕生 連合高木会長と鳩山首相初の政労会見

9月16日に召集された第172特別国会において、鳩山由紀夫民主党代表が、首相指名選挙により首相に指名されました。

*衆議院(480票)票数内訳:鳩山由紀夫327、若林正俊119、山口那津男21、志位和夫9、平沼赳夫4

*参議院(237票)票数内訳:鳩山124、若林84、山口21、志位7、白票1

首相指名に先立ち、横路孝弘議員(民主)が衆議院議長に、衛藤征士郎議員(自民)が同副議長に選出されました。また、松本剛明議員(民主)が議院運営委員長に就任しました。

今特別国会の会期は16日から19日の4日間です。

翌日に早速初の政労会見実施

鳩山政権発足の翌17日、9時30分から10時にかけて、総理大臣官邸において、鳩山内閣との初の政労会見が行われました。

連合からは高木会長、古賀事務局長、逢見副事務局長他、政府からは鳩山総理、平野官房長官、長妻厚生労働大臣他が出席しました。

はじめに、高木会長から鳩山総理大臣に「雇用対策の強化と、9月24日から開催されるG20ピッツバーグ・サミットでの意見交換をお願いしたい」と要請の趣旨を述べるとともに、「労働政策の検討にあたっては、ILOの三者構成主義に基づき、公労使による審議会での議論を引き続き行う」旨を要請するとともに、「CO2削減については、結果として日本だけが重い責任を負うことがないようにして欲しい」と述べました。

鳩山首相「雇用は最優先に」

これを受けて、鳩山総理大臣からは、「最も力強く支援して頂いた方々に早々にお越し頂いた。政権与党となり、提言や政策に今まで以上にお応えできる立場になったことを重く受け止めた

い」とした上で、「雇用については最優先の課題として厚生労働大臣とともに取り組んでいきたい。またこれまで以上に連携強化していきたい」との意向を示しました。

世界の労働運動リーダーとの会見も検討

G20については、「厳しい日程だが、世界的労働運動をリードしている方々とお会いできるよう日程調整したい」と述べました。またCO2削減目標については「この取り組みは後世に対する私たちの責務。目標は各国が日本と同様の努力を行うことを前提にしたものであり、高い目標を掲げることで、日本の発展のチャンスにしたい。また目標だけが一人歩きすることがないようにしなくてはならない」とし、これまでの発言の趣旨を述べました。

連合からの新政権への具体的な要請内容は下記の通りです。

<雇用対策の強化>

雇用維持・確保に向けた対策の強化(雇用調整助成金の拡充等)
国民の安心感を高める社会的セーフティネットの機能強化
「日本版グリーン・ニューディール政策」の推進による新たな雇用創出に向けた対策の強化
能力開発、人材育成の拡充等

<G20での意見交換>

雇用創出の最優先化
公正な金融システムの再構築
開発途上国に対する危機の影響緩和
気候変動に対応するための公正な移行
経済、社会、環境面でバランスのとれた新たな経済成長モデルの構築
公正で持続可能な経済活動のためのグローバル・ガバナンスの実現